とっとり しまね おかやま ひろしま やまぐち
コープCSネット 便り
中国・四国
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報
とくしま かがわ えひめ こうち
第64号
発行 2024年1月15日
通巻64号

CO-OP 9生協の夢広がるネットワーク

謹んで新春のご挨拶を申し上げます

コープCSネット理事長
小泉信司

旧年中はコープCSネットの事業・活動に対しご支援・ご協力を賜りましてありがとうございました

2023年度 コープCSネット商品活動交流会

2023年度商品活動交流会を岡山国際交流センター（岡山市北区奉還町）で開催し、8会員生協・取引先・事務局計44名が実参加、2名がオンライン参加となり、4年振りのにぎやかな開催となりました。

CONTENTS

ページ
2 3 コープCSネット 理事長 専務理事 年頭のご挨拶
4 2023年度商品活動交流会を開催
5 仲間づくり戦略交流会を開催
6 7 コープCSネット トピックス
8 平和の折り鶴昇華再生活動 会員生協 トピックス

コープCSネット理事長
小泉信司

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする令和6年能登半島地震により犠牲になられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

昨年は長引くロシアによるウクライナ侵攻に加えて、イスラエル・ハマスの紛争も勃発し、世界に大きな衝撃と悲しみ・不安を与えました。いずれも終息の目途はたっておらず、一日も早く平和な生活に戻れることを祈らずにはいられません。

国内では、猛威をふるった新型コロナウイルス感染症も、位置付けが五類感染症に移行し落ち着きを取り戻しつつあるものの、インフルエンザ流行と相まってまだまだ普段の生活に戻ったといえる状況にありません。

また、食料品をはじめ、ほとんどの商品が値上げとなり、引き続き消費者の家計を圧迫し、国民の生活に大きな影響を与えています。

そのような事業環境の中、コープCSネットとしても、会員生協とともに様々な課題に取り組んでまいりました。商品の値上げが続く中で、日本生協連と取り組んだ「くらし応援全国キャンペーン」は、多くの組合員から支持をいただき、新しく取り組んだ「無印良品」や大容量企画の「Dosatto」も一定の支持をいただくことができました。宅配事業のDX化もさらに進めることができ、コープアプリも23万人を超える組合員から利用いただいています。

また、将来さらに競争環境が厳しくなることが予想されることから、事業連帯の広域化の必要性・可能性についての協議もスタートすることができました。

しかしながら結果として、商品単価の上昇により予算は達成できる状況ですが、利用点数が減少傾向にあることは2024年度の大きな課題となりました。

2024年は、利用点数の維持・伸長を図るため、商品企画・品揃えの見直しを行います。並行して、事業環境が大きく変わる中、今後の宅配事業のMDのありかたについて、会員生協と協議を進めながら、仮説検証を行い、MD改革を進めてまいります。

宅配リノベーションについては、岡山冷蔵流通センターの稼働や、事業連合組織内部のDX化も進めながら、スピードをあげて強化・推進してまいりますし、店舗事業においても可能なところから連帯を進めてまいります。

引き続き会員生協・取引先の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

皆様にとって、素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

コープCSネット専務理事
塩道琢也

謹んで新春のご挨拶を申し上げます

令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が世界を席巻し、私たちの生活や事業活動に大きな影響、変化をもたらしましたが、ようやく感染症法上の5類移行となり自由に行動できるようになりました。これまでお取引先の皆様も多大な努力を払い、厳しい状況に立ち向かっていただいたことに深く感謝申し上げます。

また、世界情勢においてはロシアによるウクライナ侵攻から2年経過しても未だに終息の兆しも見えない中で中東での紛争といった出来事が国際社会を揺るがす中、国境を越えた連携と協力の大切さが一層求められるようになりました。

原材料、燃料など生産、流通にかかる費用は近年経験したことない高騰により物価は上昇し、組合員の暮らしを直撃したことで生協の事業にも大きな影響を受けることになりました。お取り先各位においても生産費用の上昇、人手不足対策に相当のご苦労をされていることと拝察しております。

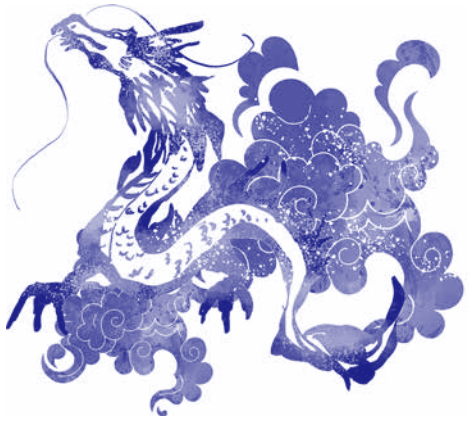
24年度においては、これらの課題に対応しつつ、サステナビリティ、物価高対策、DXへの取り組みを一層強化してまいります。状況変化に柔軟かつ迅速に対応し、お取引先様にとって安心かつ価値あるパートナーシップを発揮していけるよう役職員一丸となって取り組んでいきます。

サステナビリティにおいては、地球環境への配慮と社会的責任を重視し、地産地消、持続可能な原材料を使用した商品の導入や廃棄物削減に向けた取り組みを積極的に進めます。また、物価高対策では、原材料調達の最適化や2024年物流問題へ適合させた効率的な流通プロセスの見直し、消費の2極化対応に積極的に取り組みます。

デジタルトランスフォーメーションにおいては、先進技術を積極的に活用して効率化を図り、生産性を向上させる取り組みを会員生協と推進し、組合員サービスを高めるためのデジタル活用を推進し、ポストコロナ社会に向け、新たな成果を共に生み出すために積極的な改革を進めていく所存です。

24年は辰年。12干支の中で唯一実在しない空想上の干支になりますが、繁栄、成長、そして、大きな変化を迎える年ともいわれています。そのためにはしっかりと地に足をつけ、一つひとつの課題を丁寧に解決していく積み重ねが大切です。暮らしの場により近く迫り小さな変化を拾い集め、大局観を持って新たな時代に適した生協の役割発揮を高めていけるよう役職員一丸となって努力してまいります。

新たな年が、皆様にとって希望と成功に満ちたものとなりますよう心よりお祈り申し上げます。どうぞ本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ、お取引先様のご繁栄を心よりお祈りしております。



2023年度 商品活動交流会を開催

開催日：2023年12月6日（水）
会　場：岡山国際交流センター（岡山市北区奉還町）

司会：
コープCSネット　笠井全体区理事

2023年度商品活動交流会を岡山国際交流センター（岡山市北区奉還町）で開催し、８会員生協・取引先・事務局計44名が実参加、２名がオンライン参加となり、４年振りのにぎやかな開催となりました。今回の交流会は全体テーマを「エシカル消費」とし、組合員活動が SDGｓにつながることを認識いただきました。

学習講演では日本生協連　サステナビリティ戦略室より松島氏を講師に招き、「コープ商品のエシカル消費対応について」をテーマに、コープ商品のエシカル消費対応と世界の様々な問題に対して行なっている活動や支援を講演いただきました。

会員生協報告では、コープやまぐちより「SDGｓを探そう in ここと宇部店」をテーマに、行政とコープやまぐちとの連携取り組みについて、コープかがわより「組合員さんとすすめるエシカル消費」をテーマに、学習会や企画イベント・広報について報告いただきました。

グループ交流では５グループに分かれ、「エシカル消費を広げる意味～エシカル消費に対する私の想い～」「エシカル消費を広めていくためにやってみたいこと」について意見が交わされました。交流会の最後にグループごとの交流内容を発表していただき、参加者全員で共有しました。

参加の皆さまからは「エシカル消費の意味をよく理解できた」「他の生協の方と交流できて良かった」などの感想を多く頂戴しました。

開会の挨拶をするコープCSネット　小泉理事長

交流したことを次年度の組合員活動に生かしてほしいこと、コープCSネットではカタログなどに反映していく、という挨拶がありました。

学習講演　講師の松島氏（日本生協連）

コープ商品を軸に、身近な商品がエシカル消費につながっていることや、マークと商品と社会的貢献が一致していること、コープ商品に込めた思いや活動の意味はSDGsに繋がっていることなどを分かりやすく講演いただきました。

会員生協報告:コープかがわ　辻様
エシカル消費の学習会や企画イベント、広報内容について報告いただきました。

コープやまぐち　川﨑様には、行政との連携取り組みについてリモート発表をしていただきました。

全体会場の様子

昼食時には、学習講演で紹介された商品の試食を行いました

グループ交流の様子 ～5グループで活発な意見が交わされました～

★ パームヤシについてもっと知りたかった
☆ キャラクターを作ってエシカルに取り組む方法は参考になった
★ エシカル消費を知ることで世界を知ることができる
☆ 生産者とのつながりがエシカル消費になる
★ 商品のストーリーを知ることで、無理なくエシカル消費ができる
☆ カタログの方でもエシカル消費について分かるようにしてほしい
★ エシカルのマークを応募券にしたプレゼント企画をやってみたい
☆ 全てのコープ商品にエシカルマークやサステナブルのマークがつくようになるのが待ち遠しい

など様々な意見が交わされました。

第1回　コープCSネット仲間づくり戦略交流会を開催

開催日：2023年11月16日(木)、17日(金)　　会場：岡山シティホテル桑田町（岡山市北区桑田町）

第１回コープCSネット仲間づくり戦略交流会を岡山シティホテル桑田町（岡山市北区桑田町）で開催しました。コープCSネットでは、2008年より11年間にわたり「職員一人ひとりの仲間づくりのスキルアップ」を目的に仲間づくり研修会を開催してきましたが、今年度からは戦略面での交流に方向転換しました。当日は９会員生協から仲間づくり戦略を担う職員が参加し、コープCSネット事務局も含め21名の参加となりました。

仲間づくりとは、新規組合員を増やし生協の輪を広めていくための活動です。コロナ禍を経てWithコロナになった現在では仲間づくりの手法も多岐にわたり、様々な施策が行われています。

参加者からは、各々の生協での仲間づくりをテーマに2023年度の活動を報告いただき、質疑・応答を行うなかで、理解と参加者相互の気づきが得られる機会となりました。

交流会の様子

グループ交流では、「WEB加入」「SNS広告」「ワンコインお試しセット」「イベント」など仲間づくり施策、「利用登録推進」「新規加入者利用継続率向上」「人材育成」など、次年度方針に取り入れることなどを交流しました。また、次年度予算の考え方など相互に共有と交流が活発に行われました。

仲間づくり戦略交流会を通じて、2023年度の取り組みについて相互に交流をすることで、他の生協の活動や仲間づくり施策を学びあい、次年度の方針策定に活かすことなど、会員生協間の繋がりをつくる機会となりました。

SNS広告の例

ワンコインセットお試しセットの例

仲間づくり施策（郵便局や野外でのイベント）の一例

参加者からの声

・生協の取り組みに対し、その場で質問できたこと、また他生協の質問で気づくこともあり、勉強になりました。

・仲間づくりを行う目的について、改めて考えさせていただく非常に良いきっかけになりました。支所、営業で連携して仲間づくりを取り組んでおり、配送担当者はアポイントメントをとることが目的になっている側面もあり、利用につなげることは元より、組合員の暮らしに貢献するという考え方が薄れてきているように感じます。次年度は仲間づくりを行う目的について支所、営業の職員全員が学習し、考える機会を必ず作っていきたいです。

・きらきらステップ、楽Cookキット、骨取り魚、パラパラミンチなど、営業時に話題となる商品の調理動画や、商品特性がよくわかる動画を制作してほしいです。営業時にタブレットで紹介できる他、例えばYouTubeにアップしていただければ、各種チラシ等でも二次元コードから見ていただけるようになります。営業担当の性別やスキル問わず、宅配商品の良さが伝わるような動画があることで、スキルの均一化や、教育もすすむと思います。

・今まで実践がメインで、今回のように戦略・手法を話す機会がなかったので　非常に役に立ちました。

中国地区5会員生協に限りますが、「楽Cookキット」などは作り方動画を用意している商品もあります。

コープCSネット　トピックス

トピックス1　2023年度開発商品・品質管理研修会を開催

開催日：2023年9月27日(水)　会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前(広島市南区大須賀町)

2023年度開発商品・品質管理研修会をコープCSネット・コープCSネット虹の会共催で開催し、取引先102名（参加社数64社）の参加がありました。

2023年３月９日付で食物アレルギーの義務表示対象品目に「くるみ」が追加されましたが、2025年３月末日までが表示猶予期間となっています。今回の開発商品・品質管理研修会では消費者庁食品表示企画課より浅生政徳様を講師に招き「加工食品における食物アレルギー表示の動向について」をテーマにオンラインで講演いただきました。

消費者庁　浅生様によるオンライン講演の様子

科学的な知見に基づき「くるみ」が追加された理由や昨今の食物アレルギーの状況を分かりやすく講演いただきました。食品メーカーの先進事例としてはエスビー食品株式会社より高山大介様を講師に招き「食品企業の食物アレルギー管理について」をテーマにご講演いただきました。参加された取引先の皆さまからは実践的でとても分かりやすかったという感想を多く頂戴しました。次年度以降も引き続き「開発商品・品質管理研修会」を開催し、品質保証における知見を取引先と一緒に広げていきます。

エスビー食品株式会社　高山大介様

トピックス2　2023年度第1回事業所長交流会

開催日：2023年9月28日(木)、29日(金)　会場：尾道流通センター(9/28)、尾道ふれあいの里(9/29)

2023年度第1回事業所長交流会を広島県尾道市で開催し、中国地区5会員生協から24名の事業所長・本部職員が参加しました。初日は尾道流通センター、2日目は尾道ふれあいの里を会場としました。日本生協連ブランド戦略本部からの基調講演、尾道流通センターの施設見学、会員生協からの上期活動報告を行い、グループ交流では下期に向けていかすことを交流しました。グループ交流では、お互いの活動を知り、これまで培って来たことを交流し、活発な論議がくり広げられました。事業所長交流会は、事業所長同士の交流を深め、連帯を強化し、宅配事業全体のレベルアップと活性化を目的に、次年度以降も継続して開催していきます。

尾道流通センター
左　本会場の様子
右　施設見学の様子

左　グループ交流の様子
右　グループ交流の報告の様子。グループごとに下期に向けて生かすことを報告しました。

トピックス3　カゴメ×コープCSネット企画 オンライン料理教室 & インスタライブを開催

開催日：2023年11月７日(火)　オンライン料理教室
　　2023年12月７日(木)　インスタライブ

11月７日(火)に中国５生協の組合員限定「カゴメオンライン料理教室」をカゴメのキッチンスタジオから16名の組合員さんに向けてZOOMで配信しました。

カゴメ㈱フードプランナーの管理栄養士　松本海保先生が、カゴメ基本のトマトソース(缶)を使った「ラザニア」「ミネストローネ」「蒸しパン」の３品を実演し「冬の食卓を彩る、時短メニュー」が紹介されました。参加者からは、「ホットケーキにも牛乳でなくジュースでつくるなど新発見です」「料理の手元がよく映っていて見えやすく、各商品の紹介もあって良かった」などの感想を頂戴しています。

12月７日(木)には、コープCSネット公式Instagramフォロワー向けにインスタライブを配信しました。インスタライブでも松本海保先生が、カゴメ基本のトマトソース(パウチ)を使った「冷凍野菜で簡単シャクシュカ」を実演しました。「シャクシュカ」は北アフリカの定番の卵料理です。ライブ配信の視聴者からは「今日早速作ってみます」「簡単で朝ごはんによさそう」などの書き込みをいただきました。

↑インスタライブのアーカイブ配信はこちらから

トピックス4　2023年4月から11月までの「もずく基金」の積立額は 1,786,226円(前年同時期比102.0%)となりました

「もずく基金」では、「CO・OP恩納村産味付太もずく」「CO・OP恩納村産もずくのおみそ汁」などの対象商品の利用に応じて「もずく基金」を積立ています。「もずく基金」は贈呈先の恩納村漁業協同組合を通じてサンゴの養殖などに使われ、サンゴ保全に役立てられます。これまでにコープCSネットの基金で移植したサンゴは、累計9,881本(22年度基金による移植予定分950本を含む）となります。

for coral protection

対象商品には、coral protection のマークがついています

～2023年度　恩納村「もずく基金」関連の活動状況～

日　程	活動内容
2023年４月	**2022年度「もずく基金贈呈式」** 2,395,470円の目録を恩納村漁業協同組合に贈呈しました。
2023年８月	**夏の「もずく基金」産地見学・生産者交流会** ６生協の組合員親子、職員、事務局、総勢34名が参加し、次世代につなげる取り組みとして「もずく基金」への理解が深まる交流会となりました。
2023年11月	**恩納村コープサンゴの森連絡会　産地交流会** 連絡会に参画する24生協39名が参加。「もずく基金」の活動状況の視察の他、Honey＆Coralプロジェクトの成果として採蜜体験をしました。
2024年１月	**恩納村コープサンゴの森連絡会　総会** 23年度の活動を報告し、24年度の活動計画を承認しました。

～ 平和の折り鶴昇華再生事業からの報告 ～

新型コロナウイルス感染症が５類となり、組合員活動も活発になってきています。今年度は23年12月までで370kgもの「平和の折り鶴」が中国四国の５県のみなさんの手によって仕分けされています。

広島市中区にある平和記念公園に全国から寄贈される「平和の折り鶴」。

千羽鶴のままでは再利用原料として活用できません。再生原料にするために、まず人の手で糸やリボン・針金を外して「折り鶴」の状態に戻します。その作業を「仕分け」や「分別」と呼び、中国四国の生協組合員さんを中心に作業をしていただいています。作業会場は「平和のイベント」、「中学校」、「ご自宅」など主催生協によって様々です。多くの方の手によって仕分けされた「平和の折り鶴」は、株式会社ハートコープおのみち（コープCSネットの特例子会社）で圧縮加工（1次加工）し、抄造委託管理会社を通じて「封筒」「名刺」「ノート」「カレンダー」「おりがみ」などの商品に加工しています。

平和のイベントでの仕分け作業の様子（鳥取県生協）

中学校での仕分け作業（コープかがわ）

（株）ハートコープおのみちでの圧縮作業

コープCSネットの平和の折り鶴昇華再生事業を代表する商品

「折り鶴リサイクル 3ヶ月メモカレンダー」

今年も多くの組合員さんにご利用いただきました。

2024年版は、国も人種も違う子どもたちが生き生きとした笑顔で手を取り合っています。頭上の折り鶴が世界中の平和を願うように、空に向かって高く遠く羽ばたいています。争いのエネルギーを平和へ向かうエネルギーに変えていこう、という強いメッセージを発信します。

会員生協トピックス

コープえひめ　2023年11月23日（木）コープ松山三越がオープン

11月23日（木・祝）10時、コープ松山三越がオープンしました！

コープ松山三越は、コープえひめにとって13番目の店舗で松山市一番町にあるデパート「松山三越」の地階フロアにあります。デパートの中に生活協同組合が出店することは全国的にも珍しく、中国四国地方では初めての試みです。オープン記念セールの11月23日（木）～11月26日（日）には４日間累計で9,141人もの組合員さんが訪れ、賑わいました。「日々の豊かな食卓と笑顔をお届けするコープのお店」をコンセプトに、組合員さん・地域の皆さんのくらしに役立ち、愛されるお店をめざして職員一同頑張っています。

オープニングセレモニーで行われたテープカットの様子

多くの組合員さんで賑わいました

充実した総菜売り場

～コープ松山三越　プロフィール～

所在地：松山市一番町３丁目 1-1　松山三越　地階フロア
売場面積：約400坪
営業時間：10：00 ～ 20：00

【コープえひめ　店舗リニューアル情報】

コープ金子（愛媛県新居浜市）は2024年３月のリニューアルオープンに向けて、現在、閉店し準備をすすめています。

発行：2024年１月15日・通巻64号　発行責任者：小泉信司　発行事務局：総合企画室
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合　〒732-8504 広島県広島市東区二葉の里1丁目1-46　TEL：082-236-6800
植物油インキを使用しています。